

1 記念館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

第3四半期は、展示事業の来館者数が過去3番目に少なかった一方で、上映事業の来館者数は過去2番目に多く、総観覧者数で見ると過去3番目に多かった。

2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・通常の設備保守・点検等が適切に実施されている。
- ・館内環境について適宜報告があり、記念館の環境維持に配慮した施設管理を実施している。

● 資料等の維持管理

- ・施設の特性を考慮しつつ、適正な維持管理が行われている。

3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務

● 上映及び展示

- ・事業計画どおり、通常展や特別展、映画事業を実施している。
- ・展示事業では、特別展として世界的に有名な監督黒澤明と俳優三船敏郎をテーマとした展示を開催した。黒澤監督への印象が薄い若年層にもチラシデザインを明るくしアピールするなど工夫を凝らした。
- ・上映事業では、特別展に関連した黒澤監督の名作を上映するとともに、姉妹都市であるフランスのニース市と鎌倉市の提携50年の節目に合わせて、かまくら世界映画週間〈フランス篇〉を実施した他、シネマセレクションとして「映画で見るアジアの民族衣裳」と題し、アジア各国の伝統衣裳から伝統文化までを感じられる作品の上映を行った。

● 調査、研究及び情報提供

- ・映画関連資料の調査及び研究や、国立フィルムセンター、川崎市民ミュージアム等との情報交換等を行い、最新の映画関連情報の収集に努めた。
- ・情報資料室において映画資料や関連図書等の情報提供を行った。また、映画上映時に配布している各作品の概要をまとめたリーフレットを綴じたものを配架し、誰でも手に取って見られるように整えた。
- ・近隣文化施設4館の連携事業「ミュージアム×建築めぐりのススメ」を11月に実施するに当たって、旧川喜多邸及び旧和辻邸の建築等についての調査研究を行った。

● 広報及び宣伝等

- ・市広報に展覧会や上映内容などの情報を掲載している。さらに、庁舎内のモニターによる広告も利用し、より多くの市民等へ情報を提供した。
- ・チラシの配架及びポスターの掲示等によるPRにより記念館の広報及び宣伝等に努めた。

● その他の事業

- ・旧和辻邸の一般公開を10月1日、2日に実施した。
- ・三船敏郎の長男である三船史郎氏と三船敏郎の孫である三船力也氏をゲストに招いたトークイベントを実施し、三船敏郎の魅力を感じられる時間となり、盛況であった。
- ・黒澤明監督の遺稿脚本「雨あがる」の監督である小泉堯史氏をゲストに招いたトークイベントを実施し、黒澤監督との出会いや人柄などについてお話しいただき好評を得た。
- ・神奈川県立近代美術館との連携事業として映画「二十歳の無言館」の上映及び「二十歳の無言館」監督や出演者を招いたトークイベントを開催した。
- ・年末に子ども対象のイベント、「こども映画館」を開催した。映画「スノーマン」の上映と子どもたちがスノーマンの絵を描くワークショップを行うもので、定員を超える参加希望があり、参加者からは好評を得た。

4 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている。
10月分:11月11日、11月分:12月13日、12月分:1月13日提出
- ・利用者からの声に対しては迅速に回答し、管理運営に反映させることを検討している。

● 事故・苦情対応

- ・事故・苦情はなし。

● その他

- ・近隣文化施設4館の連携事業「鎌倉文化ゾーン ミュージアムめぐりスタンプラリー」5周年を記念して、11月に「ミュージアム×建築めぐりのススメ」と題し、旧川喜多邸及び旧和辻邸についてのトークと旧和辻邸の解説付き見学を行った。また、当イベントに合わせて、初めて旧和辻邸にて川喜多かしこ夫人の着物の展示を行った。
- ・10月1日、2日に旧和辻邸の一般公開を行った。
- ・11月8日、10日に小学3年生の児童による「町調べ」の取材に対応した。
- ・10月21～23日、25～27日の6日間、市民利用率アンケートを実施し、展示や上映、職員の対応などに対する来館者の満足度や市民割合を割り出した。アンケートへの協力をお願いする声かけに努め、来館者のおおよそ40%からアンケートを回収した。
- ・映画「天国と地獄」ロケ地散策ツアーを友の会会員向けと一般向けに計2回開催した。一般向けは初めての試みであったが、鎌倉でもあまり知られていないロケ地を巡るツアーで参加者から大きな反響を得た。

5 全体評価

- ・第3四半期の来館者数は、月毎の差が大きい結果となった。展示事業については、10月は好調であったが、12月には10月の6割ほどの来館者数まで落ち込んだ。監督黒澤明と俳優三船敏郎という世界的に知られる二人をテーマとした展示で話題性はあると考えられるが、若年層や女性の心を掴むことに苦戦を強いられた結果となった。上映事業については、第3四半期として過去2番目に多い来館者数を記録し、好調であった。12月は上映作品、上映回数共に少なかった影響で過去の同月比で落ち込みを見せたが、黒澤監督の名作やかまくら世界映画週間で上映したフランス映画等は人気であった他、シネマセクションでは、アジアの民族衣装という珍しいテーマに絞り作品を選定、上映するなど、趣向を凝らした企画で来館者の心を掴んだことが第3四半期の好調の要因と考えられる。12月に入ると寒くなり、年末に向けて鎌倉を訪れる人足が減り、来館者数を維持するのが難しくなる傾向があり、今期もその影響を大きく受けた結果となったが、年末に子ども向けイベント「子ども映画館」を初めて開催する等、対応策を練っていることは評価できる。イベント参加者の声から満足度は高いことが窺えるので、今後も引き続き上映やイベントの企画内容、実施時期などについて検討を重ね、来館者数増加に繋がられるよう努めてほしい。
- ・施設の維持管理などの業務に関しては、細やかな報告が概ね徹底されており、施設管理者に対して市が求める水準に達している。

平成28年度第3四半期判定評価表

【川喜多映画記念館】

評価項目	判定点	第3四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
2 記念館の施設及び設備並びに資料等の維持管理に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
資料等の維持管理			
資料等の維持管理は適切に実施されているか	5	○	
3 記念館の事業の企画及び実施に関する業務			
上映及び展示			
計画どおりに企画展が開催されているか	5	○	
予定どおり映画上映が実施されているか	5	○	
調査、研究及び情報提供			
映画関連資料等の調査・研究を行っているか	3	○	
研究の成果を公開しているか	3	○	
その他必要な業務			
展示・上映以外の事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%